

# えんがる 議会だより



生田原宝探し推進委員会主催「第12回あらが街の手造り自慢コンテスト」

平成26年第6回町議会(定例会) ..... P 2 ~ 3

平成26年第2回議会報告会 ..... P 4 ~ 8

町政を質す!! 一般質問 ..... P 9 ~ 15

行政視察調査報告(総務・文教、経済) ..... P 16 ~ 17

意見書、所管事務調査報告、えんがある話 ..... P 18 ~ 20

# 平成26年第6回町議会（定例会）

## 福祉灯油から福祉暖房へ名称変更、事業内容も拡充して実施！

### 道の駅しらたきに 指定管理者制度を導入

### 主な内容

平成26年第6回遠軽町議会（定例会）は、12月9日に召集され、12月11日までの3日間の会期で開かれました。

冒頭、佐々木町長からは、遠軽青年会議所との「災害時及び防災活動に関する協力協定」や丸瀬布小学校100周年記念事業、教育員会事務室移転（旧遠軽法務総合庁舎）などについての行政報告と今議会に提出される案件の要旨説明が行われました。

町長から提出された案件は、専決処分1件、表彰1件、条例制定3件、条例の一部改正5件、町道路線の認定・廃止各1件、工事請負契約締結1件、指定管理者の指定3件、平成26年度一般会計等の補正予算4件が審議。新規制定条例は、会期内の所管常任委員会で審議を行い、すべての提出議案について原案のとおり可決しました。

○福祉暖房費助成事業	・ 対象世帯2270世帯 (1世帯当たり1万円)
○生活安全等維持事業	・ 電気料金上昇に伴う生活安全等の電気料金等の追加です。

### 表彰

### 補正予算

とり親世帯に対して暖房費の一部を助成し、これら世帯の負担軽減と生活の安定を図ることを目的としています。

従前は、灯油購入費の助成として6千円分の給付券が交付されていましたが、今年度は「暖房費」の助成として1万円に拡充され支給されます。

○本庁舎管理事業	617万円
○教育委員会を旧法務局遠軽法務総合庁舎に移転	353万円
○有害鳥獣駆除事業	301万円

○教育振興一般経費	478万円
○生活安全等維持事業	340万円
○福祉暖房費助成事業	2378万円

### 条例制定

◆遠軽町地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例	○社会功労（公共のため30万円以上の金品の寄付した個人）
◆遠軽町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	○福路2丁目 羽場正義様 (まちづくり振興資金)
◆遠軽町学校給食運営委員会条例	○社会功労（公共のため30万円以上の金品の寄付した個人）
◆遠軽町学校給食運営委員会条例	○社会功労（公共のため30万円以上の金品の寄付した個人）
◆遠軽町学校給食運営委員会条例	○社会功労（公共のため30万円以上の金品の寄付した個人）

## 条例改正

年4月1日から平成32年  
3月31日までです。  
(全会一致可決)

### ○白滝農林水産物直売・ 食材供給施設（道の駅 しらたき）

#### ◆遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例

（総務・文教常任委員会  
会期中付託、全会一致可決）

◆遠軽町国民健康保険条例

（例 健康保険法施行令の一  
部改正に伴い、出産一時  
金を39万円から40万5千  
円に変更するため、条例  
を改正するものです。  
(全会一致可決)）

◆遠軽町指定地域密着型  
サービス事業者等の指定  
に関する基準を定める  
条例

（全会一致可決）

### ○白滝農林水産物直売・ 食材供給施設（道の駅 しらたき）

株式会社矢木組を指定  
管理者として指定しました。

指定の期間は、平成27  
年4月1日から平成30年  
3月31日までです。

（全会一致可決）

### ○遠軽町体育施設（遠軽 町総合体育館外18施設）

NPO法人遠軽町体育  
協会を指定管理者として  
指定しました。

指定の期間は、平成27  
年4月1日から平成30年  
3月31日までです。  
(全会一致可決)

## 遠軽町各会計補正予算の状況

(12/9～ 第6回町議会 (定例会))

会計名	補正前の額	補正額	総額
平成26年度遠軽町一般会計補正予算(第4号)	142億6406万円	9136万円	143億5542万円
平成26年度遠軽町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	25億6633万円	▲672万円	25億5961万円

※企業会計（水道事業会計、下水道事業会計）については、割愛させていただきます。

※金額は、万円未満を切り捨てて表示しています。

## 新町で初めての 夜間議会開催!!

「試行的に行う」という

議会改革の一環として、開かれた議会を目指し、多くの町民の方々に傍聴をしていただきたく、議会開催初日（9日）の会議を延長し、午後6時から「夜間議会」として一般質問を行いました。

この日傍聴で訪れた方は約20名で、お子様連れで来てくれた方もいました。初めて傍聴された方からは、傍聴する機会を得られてよかったです。という声も聞かれました。

今日は、決定から周知に至るまでの時間が非常に短く、また、周知方法も議会ホームページのほか新聞等の掲載のみで、全町民への周知（自治会回覧等）が必ずしも十分ではありませんでした。

今日はあくまでも



# 平成26年

# 第2回議会報告会開催

ひへい  
延べ72人が参加。地域の疲弊に危機感。



報告会の報告内容は、平成26年5月臨時会、6月定例会及び9月定例会でそれぞれ審議された内容や提出された議案等の議決結果などについて、議会で作成した資料や議会だよりに基づき報告さ

いて、今年2回目の議会報告会が11月18日と19日の両日、各地域で開催しました。

では、議会活動に対する厳しい意見や議会・議員への要望、提言など出されました。特に、それぞれの地域で抱える問題や報告会において、議会や地域が年々疲弊していく危機感について、議会や町に真剣に訴える意見なども多く、遠軽町として改めて地域を考えていかなければならぬと感じた報告会でした。

また、出席者は延べ72人で、平成25年12月に開催した議会報告会までには及んではいませんが、40歳代以下の方の参加が多少ですが増えたことと、初めて女性の方から議会に対して意見が申し述べられました。

今後もより多くの若年層の方や女性、子育て世代の方々に参加していただき、意見を述べてもらえるよう工夫をしたいとして報告会のまともに行いました。

**対応の方法**

- ・意見・要望等は、町当局に伝えるとともに、真摯に受け止めて善処する
- ・赤字施設でも、地域に必要な施設は残すべき。
- ・白滝の温泉施設を何かしてほしい。
- ・ノースキングの一部を改修し、高齢者施設にするなどの発想も必要。
- ・議会報告会にもつと住民が出てくるべき。
- ・安國有線放送設備が老朽化している。改修を。



## 議会報告会の概要

意見交換、質問の時間では、議会活動に対する

議会報告会において皆様からの意見等については、それぞれ次のとおりに対応していきます。

## 議会報告会での意見・提言等に対する対応

よう依頼しています。

また、必要に応じて、各常任委員会や本会議等での質疑・質問の場を通じて、町当局に考え方を尋ねたり要望として伝えます。

◆議会への意見  
(議会運営委員会と  
して受け止める)

- 子育て支援の充実として、乳幼児医療拡大と任意ワクチンの一部を助成し、未来を担う子供たちに適切な医療を。

対応の方法

関係する委員会で継続的に検討を行います。

引き続き検討・見直しを行いながら、今後も取り組みます。

◆議会への意見  
(議会として受け止め  
る)

- 水道関係、事前の説明を十分にすべき。
- 国保、下水道の未収額の収納について、しつかり指導を。
- 国保税を安くして。
- 議会、だよりの全戸配布への対応。
- 遠軽地域内で社会福祉



- 自治会とのつながり、地域ケアなどの検討を。
- 遠軽だけが膨張しても意味がない。白滝、丸瀬布、生田原があるから今の遠軽町がある。
- 支所の職員は減らさないでほしい。
- 遠軽以外の3地域は限界集落になる。人口減少の対策を。
- 合併特例債の使途については慎重に。
- 町長をリードする議会に。町長と対等に向き合い、政策を競い合うのが議会の役目。
- 遠軽町は活力、活性化



対応の方法

意見・要望等は、議員で供覧を行うとともに、今後の議会活動の参考になります。

- ジオパークの問題は、白滝だけでなく、遠軽町民がどう考えるかである。熱意が足りない。
- 新しいスポーツ広場より高齢者施設にお金をかけるべき。
- 白滝の温泉施設を老人施設などに有効活用できなか。
- 文化センターは立派なものにつくると経費や維持費がかかる。効率的で良い施設の建設を。
- 安国簡易水道について説明が不十分。
- スポーツ広場整備計画、

- 展望大学の男性の加入の取り組みを。
- 将来ビジョンを考え、高齢者の住みよい町づくりを。
- 国民年金では施設に入れない。旧遠小を活用した老人施設建設を。
- 今後の大型事業等、将来を考え、町民の意見を聞き取り組みを。
- 合併算定が終了する。
- 財政状況をしつかり認識を。

今のところでも十分。  
サッカー、ラグビー場は人工芝ではダメ。

少子化、学校統廃合問題は、当該者の意見を議員が足で集めて実現するように。

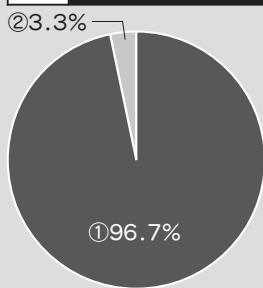
議員が一生懸命やるなら定数減の必要はない。

# アンケート調査実施結果

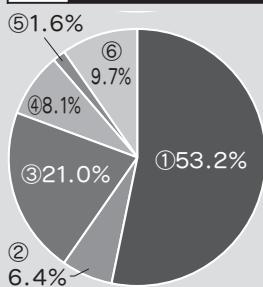
## 【アンケート調査結果】

区分	人数(人)
出席者数	72
回答者数	61
回答率	84.7%

### 問1 あなたの性別を教えてください。



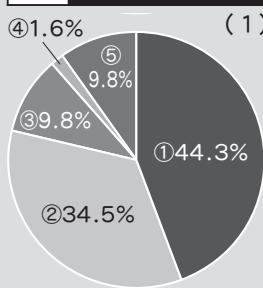
### 問3 議会報告会の開催を、どのようにしてお知りになりましたか。



回答	人数(人)
①自治会回覧	33
②町議会ホームページ	4
③新聞掲載記事	13
④ポスター	5
⑤知人・友人から	1
⑥議員から	6

\*複数回答あり

### 問4 議会報告会の内容について、どのようにお感じになりましたか。



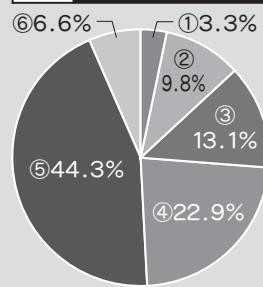
#### (1)本日、出席されてどうでしたか。

回答	人数(人)
①良かった	27
②普通	21
③もの足りない	6
④良くなかった	1
⑤記入なし	6

今回開催された議会報告会に当たり、参加された皆様にアンケートを実施しました。今回の議会・議員活動はもちろん、議会報告会に当たっては、今後の議会・議員活動につきましては、今後も議会報告会にご協力ありがとうございました。

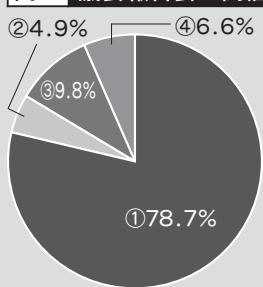
なお、問6の自由記述欄に掲載しています。ご協力ありがとうございました。

### 問2 あなたの年齢を教えてください。

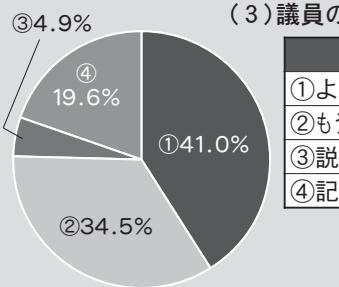


回答	人数(人)
①30歳代	2
②40歳代	6
③50歳代	8
④60歳代	14
⑤70歳代	27
⑥80歳以上	4

### 問5 議会報告会の開催についての評価をお尋ねします。

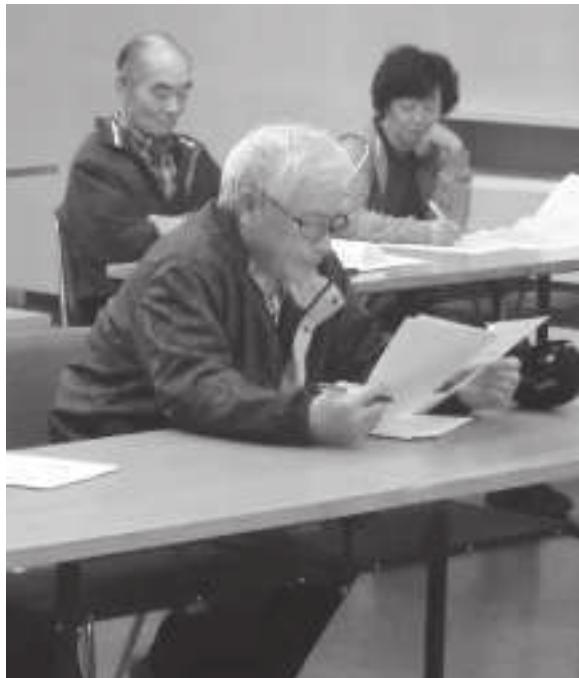


回答	人数(人)
①評価する	48
②評価しない	3
③どちらとも言えない	6
④記入なし	4



## アンケートの結果について

# 議会報告会アンケ



問6 報告会や議会に対するご意見、ご要望等（原文を尊重し、掲載しています。）

どちらが良いのか、元首長の話が考えさせられる。

- 年に1回全員で、出席してもらえばもっと良い。
- 活発な意見がでて、よろしかつたです。
- 広く住民の声を届けるために、多くの住民を集めたいと感じた。
- マイクがほしいです。書きとれない。
- 人口減、地域衰退が心評価します。

- 議会の動き、考え方を詳しく話をしてほしい。
- 汗をかけ。
- 高規格道路、セトセイ

行政より提案されても、きちんととした施策が出来るのか心配である。実態をもう少し把握して出席してほしい。（問4(3)議員の説明について）

町長の政策運営方針の一つに自衛隊をもとに地域に貢献発展する町づくりがあります。



執行機関と対等に向き合い政策を競い合う議会になつて下さい。

これからも開催してください。

頑張ってください。報告会を開催してください。

福祉センターの代替を早く決定してほしい。

時間がせっぱくして町

- ンターはできるか。又、セトセまで15年度中まで、できますか。
- 町民の素朴な意見やつぶやきの中にこそ将来の展望有り。議員は足で集約する努力不足と思う。
- 執行機関と対等に向き合い政策を競い合う議会になつて下さい。
- これからも開催してください。
- 頑張ってください。報告会を開催してください。
- 行政と議会は車の車輪がリードするくらいに。
- 報告会で出た意見を行政にもつと強く報告してほしい。



# 議会報告会アンケート調査実施結果

(健康寿命の延進のためと充実した老後生活と交流のため、医療費の削減のため、保険料率の圧縮のため) 瞰望大学への男子が少ないでの自衛隊OB等が入りやすくなる構造改革の推進。

もう少しはつきりした説明をして戴きたいと思う。町中の空き家状態を考えてもらいたい。2時間に限定しないほうがいい。

(問4(2)報告会の時間について)

町民と対話する機会をもつていただきたいことに、感謝を申し上げます。議会の内容や説明等の進め方については、今回が2回目ということで、少しずつ改善していくべきよいと思います。

参加者（町民）に若い世代が少ないのが残念でした。議会報告の内容は一般人にはわかりにくいものばかりだ。



・アンケート等を求めているが、求めていることと自体、町の都合のよいことばかり。本日出席しているので、努力は感じています。

・福祉センターの必要性は早急でいくべきだ。

・アンケート等を求めているが、求めていることと自体、町の都合のよいことばかり。本日出席しているので、努力は感じています。

・改めて感じたことです。改めて感覚提供と周知が足りないと想いました。文化センターの建設問題は町（長）は「ホール」「音楽ホール」という言葉は使つておらず、客席を備えたホールが建つ予定は現時点では「無い」のに、それを前提として発言された方が複数

いらっしゃいました。これは住民に対する進捗状況の周知不足です。また、福路のラグビー場、サッカー場の建設についても活用方法の説明なり、それを通じて何を振興したいのか、ビジョンがきちんと議会に説明されていないのでしょう。だから議会側も掘り下げる説明ができないのだと思います。したがって問4は回答不能です。議会の責任ではありません。行政（理事者）の責任です。町広報を3号も



・議会だよりに報告されていることの説明が多くなったが、直接町民に話されて、一層の理解が出来た。つづけて開催することを期待します。

・町（町長）の案について、予想することができないのか、文化センター？ラグビー、サッカー人工芝に対する内容、この件について議員の将来的な意見はな

には建設しないでほしい。文化センターは4か町村の皆様が使えるようになってほしい。改めて感覚提供と周知が足りないと想いました。文化センターとの複合的なことでは解決されない。高規格道路を活用する。町の中心の者のための文化センターへの働きかけが強い。

・文化センター（福祉センター）は土地がせまい、中央病院のあと地

には建設しないでほしい。文化センターは4か町村の皆様が使えるようになってほしい。改めて感覚提供と周知が足りないと想いました。文化センターの建設問題は町（長）は「ホール」「音楽ホール」という言葉は使つておらず、客席を備えたホールが建つ予定は現時点では「無い」のに、それを前提として発言された方が複数

いらっしゃいました。これは住民に対する進捗状況の周知不足です。また、福路のラグビー場、サッカー場の建設についても活用方法の説明なり、それを通じて何を振興したいのか、ビジョンがきちんと議会に説明されていないのでしょう。だから議会側も掘り下げる説明ができないのだと思います。したがって問4は回答不能です。議会の責任ではありません。行政（理事者）の責任です。町広報を3号も

・議会だよりに報告されていることの説明が多くなったが、直接町民に話されて、一層の理解が出来た。つづけて開催することを期待します。

・町（町長）の案について、予想することができないのか、文化センター？ラグビー、サッカー人工芝に対する内容、この件について議員の将来的な意見はな

# 町政を質す!!

一般質問  
山田 和夫 議員



**問** 高規格道路の瀬戸瀬インター完成が目前に迫り、丸瀬布インターを通過点から「立ち寄つてもらえるインター」にどう整備するかが大きな課題になっています。

いよいよ森公園は「キャンプ場」と「雨宮号運行」で全道的に有名な施設とされていますが、さらなる投資で観光客を呼び込むことが、丸瀬布インターに降りてもらう方法の一つと考え、次の2点について伺います。

①キャンプ場にある立木を利用した「ツリーハウスキャビン」の整備を。

②機関車を利用した有料

による「民間人機関士」の採用で、鉄道ファンの呼び込み実績を。

問 高規格道路は、平成28年度に瀬戸瀬インター完成が予定されおり、丸瀬布地域への影響を最小限に食い止めるため、観光協会等と連携してイベントや広報活動を実施し、入り込み客の増加を図ってきました。今後も、丸瀬布地域の知名度、認知度を高めるための方策に努めます。

答 36ホール用地確保が可能か検討していきたい

問 ロックバーレースキー場にパークゴルフ場の整備を行なう課題であることから、後世に残さなければなりません。新たな機関車の新造による運転体験の実現は、設計、製造の不可、費用等調査します。

問 現在の河川敷パークゴルフ場の状態の悪さは耳にしており、これ以上改善も難しいと考えています。ただ、要望のあつた旧ゴルフ場敷地の1、2番及び9番ホールに36ホールのコース整備が可能か検討します。

問 4年間の補助金支出で経営の改善と安定化を求めてましたが、設備の改修、整備等の実施で経営安定までいきませんでした。明年の増資実施で民間移行を実現させます。

**問** インパクトある公園に調査・研究を継続

**答** 平成27年度の民間化実現に向け決断したい

**問** 農業振興公社の民間化実現は今回の措置が最後か

町政を貢献す!!  
ただ

一般質問  
竹中 裕志 議員



**問** 本件は、9月議会議決により、現在進められていることは理解しています。

しかし、先般の議会報告会では、町民から多くの不満や不安の声も聞かれました。しかも、既に整備予定地では、別工事による作業がなされており、あたかも「本工事が始まつた」との誤解を生じていることは残念です。

今後は執行者も議会も本計画を継続するために、町民の安心と信頼を得るための最善の努力を要性を説明し、理解を得

**問** 本件は、9月議会議決により、現在進められていることは理解しています。

しかし、先般の議会報告会では、町民から多くの不満や不安の声も聞かれました。しかも、既に整備予定地では、別工事による作業がなされており、あたかも「本工事が始まつた」との誤解を生じていることは残念です。

今後は執行者も議会も本計画を継続するために、町民の安心と信頼を得るための最善の努力を要性を説明し、理解を得

ることが重要と考えますので、3点伺います。  
**①第1次遠軽町総合計画（H23～H28）想定事業**  
にない、本事業がいつの時期に計画されたのか。  
**②「遠軽町都市計画マスター・プラン」のスポーツ・レクリゾーン地域が既設の東町周辺、湧別川河畔沿い、太陽の丘周辺の3地域と認識していたが、福路地区はいつ加えられたのか。**

**③本件の実施設計業務委託の進捗状況は。**

**町長** 今回のスポーツ広場整備計画は、具体的な業名として記載していま

せんが、あらゆる事業を想定した中で、体育施設の整備として、第1次遠軽町総合計画の施策の1つとして記載しています。

整備計画予定地内での別工事は、現況が低みになつております。少しでも早く安定地盤にするため、近隣で施工している公営住宅整備事業や道路整備事業で発生した残土を有効利用して埋め立て整地を行っています。

また、現在平成27年度からの第2次遠軽町総合計画の策定作業を進めており、本事業はこれに併せて、主要なハード事業をまとめた「前期実行計

画」の中で反映させます。

**①事業について**は、財政状況、社会情勢の変化、事業の必要性や緊急性、費用対効果により、実施年度に変更があるという

ことは説明しております。必ずしも総合計画に掲載されていながら事業ができるといふものではありません。

**②平成22年度に見直した「遠軽町都市計画マスター・プラン」において福路地区は、「温水プール**を含めた周辺の土地利用を十分考慮し、用途地域の設定等の街づくりルートについて検討する。と

されており、現在、見直

**再問** 本計画は今後、施設への高額投資、費用対効果や町財政等の影響などを十分検討されて、町民に理解を得ることが肝要と考えます。町民に注目される中、今後この計画を進めていく心構えをお聞きします。

**町長** 費用対効果や公債費もクリアできるとの判断で、また、完成後は子どもたちに大きな夢と希望をもたらし、高齢者を守るために、若者がこの町に残れるまちづくりを目指して進めます。

**答** 映さる  
**（仮称）スポーツ広場整備計画の中での今後の取組等は**

し作業を進めて、福路地区についてもスポーツ・レクリゾーンの検討をし、今後は都市計画審議会にて審議することになります。

**③現在は、業務委託業者の現況測量が終わり、現況図の作成作業を進めている状況です。**

**③現在は、業務委託業者の現況測量が終わり、現況図の作成作業を進めている状況です。**

# 町政を質す!!

一般質問  
岩上 孝義 議員



**問** 現在、町では高齢者に対する交通助成事業として、丸瀬布、白滝地域にはハイヤー代金の一部を助成しております。所得税の非課税世帯が対象ですが、これを利用することにより生活圏の拡大と福祉の向上が図られ、この事業は地域住民にとって大変喜ばれている事業の一つです。また、高齢者バス乗車助成事業として70歳以上の方々に、乗車1回につき100円、対象者1人に年間72枚のバス助成券を交付しています。高齢者が外出しやすい環境を作り、介護予防と自立できる地域づくり

**町長** 町内のバス路線は、民間事業者及び町営により9路線が運行されており、先般、バス乗降調査

**町長** 高齢化が進み、足の確保ということから、新年度予算の中でよい回答ができれば出していき

内全域を対象としてハイヤーにも利用できるよう要綱の見直しを図り、実施していただきたい。

バス乗車助成券を、町内全域を対象としてハイヤーにも利用できるよう要綱の見直しを図り、実施していただきたい。

りに役立っていると思いまが、対象者が増えているのに利用者が少なく予算も減少しています。

高齢者の方々の交通手段の確保については、「路線バス便数の見直し等要望も出ていますが、地域によつては路線から遠いところもあり、すぐに路線や便数の見直しは難しいと思われます。

バス乗車助成券を、町内全域を対象としてハイヤーにも利用できるよう要綱の見直しを図り、実施していただきたい。

町の職員は、地方公務員として基本的権利は尊重されなければなりません。また、町民に奉仕する立場にあるものとして、町民の便益確保のために努力を求められます。

時間外勤務をしている状況ではないでしょうか。時間外勤務手当はもちろん電気料暖房料等かなり

ります。高齢者が外出しやすい環境を作り、介護予防と自立できる地域づくり

**町長** 高齢化が進み、足の確保とということから、新年度予算の中でよい回答ができれば出していき

たは利用しづらい等の話がある中で、現況の見直しあはできないか。

なっています。電気料や暖房料は分けて算出することが不可能であるため、節電に努めています。次に職員の配置ですが、公務員のあるべき基本を身につけるいとまがなくなることが危惧されます。

## バス乗車助成券のハイヤー利用を可能にする

**問**

路線バスアンケート調査等を参考にする

**答**

を実施し、アンケート調査も併せて実施しました。

今後ますます増加する高齢者の方々の交通手段の確保については、「路線バス便数の見直し等要望も参考にしながら路線のない地区も考慮した検討が必要だと考えています。

**問** 新規採用職員を1年間は多忙な課に従事する

の額になると思われます。長期にわたり時間外勤務せざるを得ない場合、健康管理にも問題が生じるものと思われます。

毎年職員の新規採用を行っていますが、これらの職員を1年間は多忙な課の職務に従事させるようできませんか。次年度、勤務状況により適正配置ができると思います。

**答** 公務員の基本を身につけるいとまがなくなる

**町長** 「時間外勤務に係る経費」は、平成25年度実績で時間外勤務手当は給料総額の3・47%となっています。電気料や暖房料は分けて算出することが不可能であるため、節電に努めています。次に職員の配置ですが、公務員のあるべき基本を身につけるいとまがなくなることが危惧されます。

# 町政を質す!!

一般質問  
秋元 直樹 議員



現在遠軽町では、高規格道路が近い将来遠軽地域まで延長されることを視野に「道の駅」の計画があることから、新たな地元産の食材や特産品を開発し、観光などで町外から訪れる方々へのプレゼンテーションが必要な時期に来ています。

特産品の開発は、各地域、各団体等で、町村合併前から現在に至るまで、先人の方々の積極的な活動もあり、一定の成果を得られてきました。

しかしながら遠軽には、「これを買って帰りたい。」といふものが、他地域に

町長

①地域の特産品や

②現在遠軽町内には、たくさんの特産品があり

えますか。

全国的にふるさと納税が話題となり、特産品が注目される中、遠軽町でも今まで以上に特産品の開発を進めるべきとの観点から次の2点について伺います。

①地域の活性化と地場産業の振興を図るために、地域資源や特性を活用した特産品開発を行っている方を対象にした補助金制度を設けてはどうですか。

②現在の4地域の特色を活かした今後の特産品のあり方を、どのように考

みたいと考へています。  
そのため、既存商品の磨き上げや、新商品開発に対するソフト事業にも気を配っていきます。

特産品開発に対する町の補助金制度は、町としても、何らかの形で応援することを検討します。

②現在遠軽町内には、中で製品化に向け四苦八

問 現在遠軽町では、高規格道路が近い将来遠軽地域まで延長されることを視野に「道の駅」の計画があることから、新たな地元産の食材や特産品を開発し、観光などで町外から訪れる方々へのプレゼンテーションが必要な時期に来ています。

比べて多くはありません。

食に関しては、重要な観光コンテンツであること

は言うまでもなく、観光の振興にも大きく寄与するものです。

ます。

幅広い意味での、地域資源と関連付けたお

土産品を含めて、これまで以上に特産品の種類を

増やしていくことにより、

他町村の方々に宣伝して

いきますか。

問 特產品開発に対して補助金制度を

答 町としても応援していく

問

町としても応援していく

苦しているのが現状です。他町村では、行政も一體になつて地域産を全面に出し特產品開発を進めている地域も少なくありません。この補助金が制度化することを期待する中で、今ある特產品や新しい遠軽町の特產品が、道の駅完成に向けて、注目していくことと思います。行政として、どのように遠軽産のものを、他町村の方々に宣伝していくことを期待しています。

商工観光課長

例えは、

ホームページへの掲載、

物産カタログへの掲載、

またオホーツク管内でブ

ランド認証制度があるの

で、出品を促していく等

の方法を考えています。

再問 現在生田原地域での磨き上げや、新商品開発に対するソフト事業にアスパラガスのように、地域から胸を張って出していくけるものを作つてい

こうと、かぼちゃの生ケーキを有志の団体で、5年後の道の駅における

ものにするという目標の

中で製品化に向け四苦八

# 町政を質す!!

一般質問  
佐藤 昇 議員



**町長** ①町の予算に計上している「つなぎ雇用」としての委託事業では、抜本的な生活の向上は図られました。

**問** ①平成25年12月定例会の一般質問で「季節労働者対策として新たな政策展開」を求めた事に対し、「研究、検討する」と答弁されました。その後経過、結果について伺います。

②本町は北海道一の森林面積を有する事から、その資源を有効活用した産業の掘り起こしと合わせ、季節労働者の雇用拡大に結びつける施策の展開を図る考えはありませんか。

**町長** ①町の予算に計上している「つなぎ雇用」としての委託事業では、抜本的な生活の向上は図られました。

②本町は北海道一の森林面積を有する事から、その資源を有効活用した産業の掘り起こしと合わせ、季節労働者の雇用拡大に結びつける施策の展開を図る考えはありませんか。

**町長** 遠軽町に合うもの

取り組みも含めて「森林づくり」計画を新たに策定し進めています。

①について、下川町では森林資源を有効活用し、化粧品や消臭剤、

バイオマスエネルギーを

経費削減に役立てていま

す。本町も今後木質バイ

オマス事業について研究

が減少していますが、I

Cを利用した観光戦略と

当面の対策について、

①仮称「遠軽豊里IC」

のコスモス園のPRを意

識した名称のあり方、道

の駅のあり方など幅広く意見を聞きながら進めるべきと考えます。

②当面の対策として「車道外側線」に何らかの工夫、山の斜面の「太陽の丘」の看板の工夫など、いろいろな角度からの検討が必要と考えます。

## 問 政策予算として独自財源の上積みを行う

町として、このようないれません。  
されません。  
したがって、通年雇用促進協議会で行っている大型免許や大型特殊車両免許の資格取得に対する支援は、関係3町協議により、道費の10分の3助成から、政策予算として補助率10分の2を独自財源で上積みを行い、10分の5の助成内容とします。

**再問** ①について、下川町では森林資源を有効活用し、化粧品や消臭剤、

バイオマスエネルギーを

経費削減に役立てていま

す。本町も今後木質バイ

オマス事業について研究

が減少していますが、I

Cを利用した観光戦略と

当面の対策について、

①仮称「遠軽豊里IC」

のコスモス園のPRを意

識した名称のあり方、道

の駅のあり方など幅広く

意見を聞きながら進めるべきと考えます。

②当面の対策として「車道外側線」に何らかの工夫、山の斜面の「太陽の丘」の看板の工夫など、いろいろな角度からの検討が必要と考えます。

**問** 仮称「遠軽豊里IC」開通を見据えた観光戦略は

**答** 関係機関などと相談しながら進めたい

その他の提言については、観光協会、商工会議所など施設の魅力向上に向けた検討を行っており、アイデアについては参考意見として承ります。

町政を質す!!

一般質問  
岩澤 武征 議員



問 今年の3月議会で平成18年度3月までは町負担で設置されてたものが、4月からは突然個人負担になり、その上メーターの減価償却分が含まれた水道料金を支払つてることについて質問したところ、「最終的に『検討する』」という答弁がありました。

その後どのように検討されましたか。

町長 新築家屋の水道メーターの取り扱いについては、合併時の事務統合協議において、個人負担として実施してきましたが、本年、3月議会の

再問 この間新築された方は、メーター代と減価

議員からの一般質問で、指摘を受け、検討しました。

この間の検討結果として、新築家屋の水道メーターを個人負担とした場合、減価償却を含む水道使用料をいただくことになります。新規水道使用者に負担をかけることになります。

8年間の償却分2万8千円か、個人で付けたメータ代を返す必要があるのではないかですか。

多く払っていた分は、町として返すべきです。

このことから、新築家屋の水道メーターは、水道事業者の負担とすることが判断しましたので、条例改正等の事務手続きなどを経て、新年度から実施します。

町長 当時、条例として決めていたことであつて過去にさかのぼつて返還ということは考えていません。

町長は、施政方針で「まちづくりを進めるには住民と行政が協働で進めることが重要」と述べています。今後予定されている大きな事業は、関係する団体はもちろん、一般町民の理解と納得が大切です。「まちづくり評価についてもアンケート調査で町づくりに反映させています。

これからも町民の皆さんや関係機関の方の考え方を伺つて進めます。

協働の仕組みをどのように

答 新年度から事業者の負担とする道メータの検討結果は

問

新築家屋の個人負担している水道メータの検討結果は

町長 事業を進めていく上で町民の皆様の参画は大変重要なことと認識しています。

これまで、「文化センターを考える会」など町民の皆さんと考えを聞き、現在策定中の第2次総合計画も町民の皆さん参画をいただき、計画策定の段階から関わっています。

このほかにも、アンケートの実施やパブリックコメント手続き、各種審議会による意見反映などにより参画していただいているいます。

問 今後の大きな事業へ町民の参画の仕組みを

答 町民の意見を聴く機会を設ける

うに考えていますか。

# 町政を質す!!

一般質問  
稻場 仁子 議員



問 今年6月に地域医療・介護総合確保推進法が成立し、市町村が実施主体である地域支援事業に、在宅医療と介護の連携を推進する取り組みや、認知症施策を推進する取り組みなどが新たに位置付けられました。また、要支援者に対する訪問介護と通所介護が市町村の事業に移行することになりました。

答 に対する取り組みや、介護にあたる家族に対するケアをどのように考えていますか。

また、24時間定期巡回・随時対応サービスが始まって既に2年が経過していますが、いまだ町では導入されていません。今後、どのように対応するのでしょうか。

町長 遠軽町では、要支援者の認定有効期間の更新に合わせ、平成29年4月から順次移行することとされ、町内関係団体の代表者で構成される「遠軽町保健医療福祉審議会」で審議されました。

事業の実施に当たつては、国が示すガイドラインはもとより、介護サービス事業者等との協議や監修、後期高齢者及び認

知症高齢者など医療と介護を必要とする人の増加に対応するため、訪問介護事業所及び訪問看護事業所と協議し、サービスの重要性を周知します。

問 平成29年度から順次移行します  
り組みは

介護保険事業計画の策定にあたっては、65歳以上の方々を対象に遠軽町独自の質問項目を加えた議会における審議等を通じ、本町における介護日常生活圏域ニーズ調査を実施しています。また、総合計画にかかる住民アンケート等も参考しながら、地域ケア会議や住民の代表からなる「遠軽町保健医療福祉審議会」で審議していただくことで、高齢者の意見を反映させるとともに、様々な人の意見を取り入れています。

# 調査報告

合宿誘致は、他地域や関係機関との情報を共有し、組織内の連携を高めるべき

## 総務・文教常任委員会 道外行政調査報告

### ◆総務・文教常任委員会

委員長 今村則康  
副委員長 稲場仁子  
委 員 高橋義詔、  
一宮龍彦、竹中裕志

◎平成26年10月27日(月)  
鹿児島県南九州市



●調査内容  
・南九州市 地域資源を活用した地域活性化のための取組について 他

厳しい財政状況の中にあつた3町（川辺町・知覧町・頴娃町）は、財政改革を推進するため、平成19年に合併し、知覧町が誕生。合併後の地域が抱える様々な課題に対応した解決策について整理し、地域資源を活用した地域活性化のための取組を調査することとした。

●まとめ  
(1) 移住・定住対策 人口は、平成17年から

(2) 空き家対策 南九州市では、1条から9条までの簡便な空き家情報登録制度（空き家バンク）を創設。現土地の登録をしてもらい、

●まとめ  
(1) コンベンションタウン 交流人口と地域活性化につなげている活動を調査。

有効活用を促している。その他、「南九州市空き家紹介に係る事業者登録事務取扱要領」により、仲介するため、市に事業者登録をするという民間と一体となつた取組を行っている。

さつま推進協議会の取組目指し、コンベンションタウンさつま推進協議会による手伝い、差し入れ制度が確立されている。

市に依頼に基づき取引を施設使用料減免、宿泊所の手配や商工部弁当部会による手伝い、差し入れ制度が確立されている。

さつま推進協議会の取組目指し、コンベンションタウンさつま推進協議会による手伝い、差し入れ制度が確立されている。本取組がなされている。本

鹿児島県主催で福岡地区及び関西地区的大学生を対象とした「合宿セミナー」に毎年参加。合宿

ヨンによる合宿誘致の取組について 他

度を創設し対応を行つている。間髪入れず対応することに感銘を受けた。

この制度を利用して市外からの転入は38件となり、この制度を利用しても県内町村でスポーツ合宿地として定着し、県や関係自治体と連携を図りながら合宿誘致活動に取り組んでいるさつま町の活動を調査することとした。

また、全国大会出場チームには祝電と竹杓子（敵を召し取る）を送付するなど、知恵を絞つての活動を行つている。

●まとめ  
さつま町スポーツ施設視察



●調査内容  
・小林市 九州一安全安心なまちを目指す取組について

◎平成26年10月29日(水)  
鹿児島県小林市

●調査内容  
・霧島市 霧島ジオパークの取組について

※これら2市の調査内容は、紙面の都合上割愛させていただきます。

地域の活力維持のため、直接的に人口増に結びつく取り組みが最重要課題



大木町 道の駅あおき

# 行政視察

## 経済常任委員会

### 道外行政調査報告

#### ◆経済常任委員会

委員長	黒坂貴行
副委員長	松田良一
委員	山谷敬二 山田和夫

◎平成26年11月12日(火)

福岡県三潴郡大木町

#### ●調査内容

- ・福岡県大木町
- （道の駅おおき運営について）
- ・大木町特産の高品質な食材を、豊富に取り揃えた直売所「くるるん夢市場」と、それらの厳選素材について

#### ●調査目的

- （道の駅おおき運営について）
- ・道の駅おおきは、3法人（JA福岡大城、株式会社トロくるるん、一般社団法人サステナブルおおき）が共同運営している。
- （JAリース事業など）の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）
- ・駅長が女性であり、女性目線の運営が効果を上げている。また、生産と販売をJA福岡大城が受け、「くるるん市場」の販売やレストランにも女性の雇用を見いだすなど、運営に女性特有の視点を感じる。
- ・インフォメーションセンター（一般社団法人サンティナブルおおき）で

材を味わえるレストラン

「デリ&ビュッフェくるるん」、地域の情報をご案内する情報センターを備えている。

この施設は、3法人（JA福岡大城、株式会社トロくるるん、一般社団

法人サステナブルおおき）が共同運営している。

（JAリース事業など）の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）

・収納に関して、資金等

（JAリース事業など）の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）

・歴史的背景から、中心

の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）

・豊後高田市 定住化対策、昭和の町について

（道の駅おおき運営について）

・駅長が女性であり、女性目線の運営が効果を上げている。また、生産と販売をJA福岡大城が受け、「くるるん市場」の販売やレストランにも女性の雇用を見いだすなど、運営に女性特有の視点を感じる。

（昭和の町）の取り組み

と、市の目標である人口

3万人を目指し、定住促進対策に取り組んでいる

は、土曜夜市、カラオケシヨー、体験コーナー、種々の教室など多彩な地域のイベントを紹介しており、三者それが成り、三者それが成り、三者それが成

りあげている。

・「モアハウス（きのこ農事組合）」では、『作る人、売る人、管理する人』3

つの柱で、「女性だけで

きちんと経営できる』ことを掲げて経営を行つて

いる。

・収納に関して、資金等

（JAリース事業など）の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）

・歴史的背景から、中心

の指導など、しっかりと就農者をサポートしている。（行政、JAが一体となつて）

・豊後高田市 定住化対策、昭和の町について

（道の駅おおき運営について）

・駅長が女性であり、女性目線の運営が効果を上げている。また、生産と販売をJA福岡大城が受け、「くるるん市場」の販売やレストランにも女性の雇用を見いだすなど、運営に女性特有の視点を感じる。

（昭和の町）の取り組み

と、市の目標である人口

3万人を目指し、定住促進対策に取り組んでいる



豊後高田市 昭和の町商店街

して産み育てやすいまちづくり」「住んでみたい環境づくり」等を目指すなら、横断的なしつかりとした組織が必要であると考える。

◎平成26年11月11日(月)  
長崎県大村市

#### ●調査内容

・大村市 農業生産法人「有限会社シユシユ」について

#### ●まとめ

ことから、官民一体のまちづくりを調査する。

#### ●調査目的

・第一次産業（農業生産）を基本とし、第二次産業（加工）、第三次産業（販売、サービス）の一貫性を確立した掛け算の6次産業を目指す施設である。

※この調査内容は、紙面の都合上割愛させていただきます。

各常任委員会の行政調

査報告書は、議会ホームページに全文を掲載しております。ご高覧ください。

[\(http://engaru.jp/gikai/\)](http://engaru.jp/gikai/)

# 意見書可決

—國や道への要望 意見書案一件を提出—

議員提案により、意見書が提出され可決されました。関係行政庁に送付しました。

安全・安心の医療・介護の実現、医療・介護従事者の大幅増員と処遇改善を求める意見書

(提出者 岩上孝義議員  
他5名)

平成26年6月に成立了「医療介護総合法」は、国の公的責任を地方自治体と住民に転嫁するものにはかならない。医療費抑制のため病床・病院を削減し、病院から地域に追い出された患者の受け皿は、地方自治体と住民の自助・共助でというもので、地域の医療と介護を崩壊させかねない。

介護分野でも保険給付を外し、「全国一律の保険給付から、地域ごとの事業へ」と変容させることが盛り込まれ、限

られた介護保険財政と人材の中さらに自治体財政を圧迫する。

また、安全・安心な医療・介護を提供する上でも処遇改善が急務である。

よつて、国においては、下記事項の改善を行うよう要望する。

- 1 国の公的責任を自治体・住民に転嫁した医療介護総合法について自治体・住民に負担をかけない対策を国の責任として講じること。
- 2 安全・安心な医療・介護を実現するため医師・看護師・介護職員を大幅に増やすこと。
- 3 国民の自己負担を輕減し、必要な増員と処遇改善の財源が確保できる診療報酬・介護報酬に改善すること。

	<b>10月9日</b>	<b>10月10日</b>	<b>11月21日</b>
・ 平成26年度行政評価町民アンケート結果	・ 第2次遠軽町総合計画	・ 12月議会補正予算	・ 各常任委員会等で調査、協議、実施等されたこと
・ 第2次遠軽町総合計画	・ 生田原コミュニティセンター・コインランドリー設置工事	・ 12月議会提出案件	・ 遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正
・ 生田原コミュニティセンター・コインランドリー設置工事	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 平成25年度普通会計財務諸表	・ 第2次遠軽町総合計画(草案)
・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町社会体育施設に係る指定管理	・ 使用料・手数料の取扱	・ 遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正
・ 遠軽町国民健康保険条例の一部改正	・ 平成26年9月定例会	・ 第6期介護保険事業計画に係る日常生活圏域ニーズ調査結果	・ 第2次遠軽町総合計画
・ 所管事務調査	・ 委員会付託案件	・ 遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター・アンケート調査	・ 遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正
・ 道外行政調査報告書(まとめ)	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 道外行政調査	・ 委員会付託案件	・ 平成26年度行政評価町民アンケート結果	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 議会所管事務調査通知	・ 第2次遠軽町総合計画	・ 第2次遠軽町総合計画	・ 遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正
・ 設置工事	・ 遠軽町白滝高齢者総合生活福祉センター・アンケート調査	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 平成26年9月定例会	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年9月定例会	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 11月14日	・ 平成26年9月定例会	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 11月26日	・ 平成26年9月定例会	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 12月議会提出議案	・ 平成26年9月定例会	・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 12月議会補正予算(まとめ)	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 道外行政調査報告書	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 議会所管事務調査通知	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 次地域主権改革一括法(関連)	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 12月議会提出議案	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 白滝ジオパーク再認定	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 審査現地調査(報告)	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 候補者の選定	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 教育委員会移転に伴う	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 3階事務室の利活用	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 改正	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 道外行政調査報告書	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 3階事務室の利活用	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 改正	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 遠軽町学校給食セントラル	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 1条例施行規則の一部	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定
・ 介護保険関連条例の制定(地域主権改革一括)	・ 平成26年9月定例会	・ 平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知	・ 遠軽町学校給食運営委員会条例の制定

# 所管事務調査報告

平成26年10月～12月

12月10日

11月21日

11月21日

12月16日

12月16日

## 総務・文教

## 民生

議会運営		募集スケジュール
10月14日	平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知書に係る調査事項	平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知書に係る調査事項
10月15日	遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正	遠軽町町税等の滞納に対する制限措置に関する条例の一部改正
10月16日	やまびこチップボイラーオの計画と実績	やまびこチップボイラーオの計画と実績
10月17日	12月議会提出議案	12月議会提出議案
10月18日	遠軽町・紋別自動車道遠軽豊里IC(仮)	遠軽町・紋別自動車道遠軽豊里IC(仮)
10月19日	委員会付託案件	委員会付託案件
10月20日	遠軽町の入居状況	遠軽町の入居状況
10月21日	生活福祉センター（ほのぼの）	生活福祉センター（ほのぼの）
10月22日	平成26年9月定例会	平成26年9月定例会
10月23日	委員会付託案件	委員会付託案件
10月24日	介護保険関係条例の制定及び一部改正	介護保険関係条例の制定及び一部改正
10月25日	第3次地域主権改革（一括法関連）	第3次地域主権改革（一括法関連）
10月26日	インターネット公売の執行状況	インターネット公売の執行状況
10月27日	丸瀬布地域学童保育事業に関するアンケート結果	丸瀬布地域学童保育事業に関するアンケート結果
10月28日	生田原診療所業務委託契約に係る増額要請	生田原診療所業務委託契約に係る増額要請
10月29日	平成26年9月定例会	平成26年9月定例会
10月30日	委員会付託案件	委員会付託案件
11月1日	福祉暖房費助成事業	福祉暖房費助成事業
11月2日	12月議会補正予算	12月議会補正予算
11月3日	臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の給付状況	臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金の給付状況
11月4日	遠軽町国民健康保険条例の一部改正	遠軽町国民健康保険条例の一部改正
11月5日	子ども・子育て支援新制度に係る利用者負担	子ども・子育て支援新制度に係る利用者負担
12月1日	12月議会提出議案	12月議会提出議案
12月2日	12月17日～19日の暴風雪における災害対策	12月17日～19日の暴風雪における災害対策
12月3日	第2次遠軽町総合計画（素案）	第2次遠軽町総合計画（素案）
12月4日	12月議会提出議案	12月議会提出議案
12月5日	平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知書に係る調査事項	平成26年第5回遠軽町議会所管事務調査通知書に係る調査事項
12月6日	道外行政調査	道外行政調査
12月7日	書に係る調査事項	書に係る調査事項
12月8日	議会所管事務調査通知書に係る調査事項	議会所管事務調査通知書に係る調査事項
12月9日	道外行政調査	道外行政調査
12月10日	意見書の取扱い	意見書の取扱い
12月11日	請願書	請願書
12月12日	道外行政調査報告書	道外行政調査報告書
12月13日	（まとめ）	（まとめ）
12月14日	意見書の取扱い	意見書の取扱い
12月15日	議会費	議会費
12月16日	当初予算要求に関する説明	当初予算要求に関する説明
12月17日	平成27年度一般会計告会実施結果	平成27年度一般会計告会実施結果
12月18日	（議会費）当初予算要求に関する説明	（議会費）当初予算要求に関する説明
12月19日	平成26年第2回議会報告会実施結果	平成26年第2回議会報告会実施結果
12月20日	意見書の取扱い	意見書の取扱い
12月21日	平成26年第2回議会報告会実施結果	平成26年第2回議会報告会実施結果
12月22日	（まとめ）	（まとめ）
12月23日	意見書の取扱い	意見書の取扱い
12月24日	議会費	議会費
12月25日	当初予算要求に関する説明	当初予算要求に関する説明
12月26日	平成26年第6回遠軽町議会追加議案	平成26年第6回遠軽町議会追加議案

## 経済

## 経済

## 議会運営

## えんがる話 (まちの声)

○遠軽町の農業を活性化させるために

今回、会へのインタビューを行い、農業を含めた1次産業を活性化させるためにさまざまな考えがあることを知らされました。

○遠軽町女性団体  
「きらめく翼」

会長 草野 まゆみ

「きらめく翼」は、遠軽町の女性（主に農業従事者）が活動する遠軽たんぽぽの会、JAえんゆう女性部生田原支部、白滝じやが生産部会加工班で構成されている団体で、農村女性の生きがいづくりや男女協働参画を目的に組織された団体です。平成13年に会が設立され活動を始め、当初は地域の女性のネットワークづくりを中心としたが、活動をしてきましたが、平成25年からは町から補助金をいただき、町外や道内のほか、道外への視察研修を行い、活動の幅を広げています。

・農業だけでなく、商工団体もまちも巻き込んで活気あふれる活動をしたい。  
・点と点を結び線に、さらに面とうまくつなげ、新しいものを作るのではなく、あるものを生かした中で、農家民宿をやりたい。  
・農業は面白いことの塊。いろんな人に見てもらい、応援団を広げたい。

商業の人は1次産業に何を求めているのか、交流を深める中から見ていきたい。そのため、この会は、農業者でなくとも幅広く入れるので、商工業者や一般の方の加入を推進していきたく思っています。

委員会 委員長 岩澤 副委員長 松田  
秋元 佐藤 直樹 昇 良一 武征  
広報特別委員



1月11日に生田原地域の食材の発掘を目指し、第12回おらが街の手造り自慢コンテスト

## 編集後記



### 遠軽町議会ホームページをご覧ください。

- |                                       |                                        |
|---------------------------------------|----------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員名簿    | <input type="checkbox"/> 請願・陳情の手続き     |
| <input type="checkbox"/> 常任委員会等名簿     | <input type="checkbox"/> 意見書・決議        |
| <input type="checkbox"/> 遠軽町議会議員会派別名簿 | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査通知 |
| <input type="checkbox"/> えんがる議会だより    | <input type="checkbox"/> 常任委員会所管事務調査報告 |
| <input type="checkbox"/> 一般質問通告（概要）   | <input type="checkbox"/> 議会改革への流れ      |